

## 2022年度教員養成講座（前期）の報告書Ⅱ 1次試験結果報告

本講座受講者の第一次試験合格者は、名桜生9人、一般12人、計21人です。2次試験対策から新たに本講座に参加した2人を加え、23人が最終合格を目指して頑張っているところです。科目別合格者の内訳は、表1のようになっています。

表1 2022年度教員候補者選考試験第1次試験教科別合格者数（8月19日現在）

	英語	保健体育	養護教諭	小学校	国語	数学	家庭	合計
名桜生	5	3	1					9
一般	0	2	3	5	1+1*	1*	1	14
合計	5	5	4	5	1+1*	1*	1	23

※ 前年度の受講者で2次対策講座からの参加者も含む。1\*は今年の2次対策講座からの参加者

2022年度の前期教員養成講座は、4月11日（月）にスタートし、開講式には38人が参加しました。その後受講者が増え名桜生36人、一般15人、計51人が受講しました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により支障をきたした面もありましたが、受講生の検温、換気、教室使用後の消毒等、受講者の協力をいただき予定通り講座を実施することができました。5月後半以降は、教育・養護実習で忙しくなり、特に県外生には地元での教育・養護実習を行うために講座に参加できない学生もいました。ただ、アンケート結果によるとメール配信での対策課題があったので継続して勉強ができて良かったという回答もありました。1次試験対策講座は、講座の全体的な中断はなく7月7日（木）に無事終了いたしました。

第1次試験は、自治体によって実施日が異なりますが、6月25日（日）から7月22日（金）の期間に行われました。第2次試験対策講座は7月19日から開始し、前半（第1次試験合格発表前）は20名、後半（合格発表後）は13人が参加しています。二次試験の内容は、論文（沖縄県は今年度はなし）、実技（一部）、面接、模擬授業となっており、二次試験は一人だけで対策を講じるには厳しい状況だと思われます。そのため、特に県外での受験のために帰省している学生を対象に、オンラインでの2次試験対策講座への参加も呼び掛けています。

沖縄県の第二次試験は9月3日、4日に予定されています。そのため二次対策講座は9月1日（木）には終了しますが、県外の希望者にはオンラインでの支援を継続して行う予定です。さらに第三次試験まで実施する自治体は9月下旬まで支援は続きます。なお、例年一般受験者に比べて現役名桜生の一次試験合格者に対する二次試験合格者の合格率が低いことから、学校現場での実践力不足が指摘されていました。そこで、今年度は、教育・養護実習中だけでなく、学校現場の協力を得て、実習前後の学習ボランティアとして教育・養護実習校またはその近隣校での学習支援ボランティア活動を取り入れています。それらの体験を糧とし、自信をもって二次試験に臨んでほしいと思います。1次試験合格者全員の最終合格を目指しています。

最終合格発表は、9月下旬から10月下旬となっています。



写真1

### 二次対策講座の様子

←写真1

英語科：英作文指導の様子

写真2→

養護教諭：模擬授業の様子

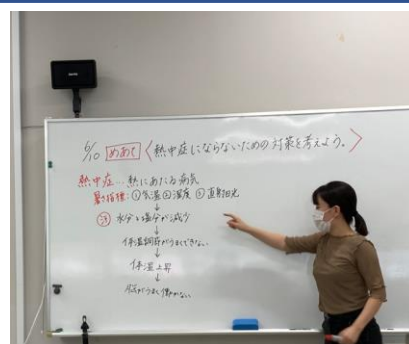


写真2